

kWモニタリングの結果について（2023年9月1日時点）

公表日	対象期間
9月1日（金）	9月2日（土）～ 9月8日（金）

週間計画の需給状況（対象期間：9/2~9/8）

- 週間計画の前提とした各エリアの需要想定は、引き続き高気温が見込まれるため、3エリア(東北、北陸、九州)でH1需要を超過、残りエリアについても沖縄を除きH3需要を超過する高い水準を見込んでいる。
- 8月31日に公表した週間計画の結果によると、広域予備率は東北～東京ブロックで5.7%（最小予備率時）と8%を下回る断面も想定される。

週間最大需要想定時（8/31時点）

万kW

翌週	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
9/2(土)	377	1,100	4,477	1,641	384	2,090	800	400	1,242	126
9/3(日)	338	1,020	3,992	1,562	351	1,940	760	360	1,222	130
9/4(月)	388	1,400	4,989	2,333	496	2,410	970	450	1,472	139
9/5(火)	386	1,370	5,099	2,353	466	2,420	970	460	1,469	146
9/6(水)	375	1,310	5,268	2,304	456	2,420	950	450	1,497	137
9/7(木)	362	1,250	5,132	2,264	456	2,420	930	440	1,421	135
9/8(金)	366	1,240	4,957	2,215	436	2,360	920	450	1,443	140

…H1超過

…H3超過

広域予備率（予備率最小想定時）

%

北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
13.7	16.7	16.7	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	35.1
8.5	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	29.8
10.6	6.9	6.9	6.9	9.6	9.6	12.0	9.6	12.0	31.7
9.2	6.0	6.0	6.0	9.3	9.3	11.3	9.4	11.3	27.7
9.4	5.7	5.7	7.6	8.1	8.1	12.1	9.4	12.1	26.0
9.9	7.1	7.1	7.7	9.6	9.6	13.2	13.2	13.2	30.5
10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	14.2	11.6	14.4	29.5

…8%以下

<参考>

9月_H3需要	387	1,180	4,650	2,208	438	2,314	931	425	1,320	160
9月_H1需要	415	1,357	5,364	2,463	466	2,493	987	492	1,437	167
※前年最大実績	372	1,240	4,872	2,285	491	2,517	958	470	1,323	144

※2022年度の同一週における最大実績

9エリアで最も広域予備率が低くなる日：9月6日(水)

データ詳細は広域予備率Web公表システムにてご確認いただけます。 <https://web-kohyo.occto.or.jp/kks-web-public/>

- 全国的にH 1 需要となる想定で更なる供給力対策等を考慮した結果、広域予備率は北海道で6.6%、東北～中部で7.1%（最小予備率時）を確保できている状況。
- 気象状況の変化や電源トラブルに加え、各社の電源・連系線等の補修作業も併せて注視していく。
- 今後、電力需給ひっ迫が見込まれる場合には、政府や一般送配電事業者と連携し対策を講じる。

リスクケースの対象日：9月6日（水）（前ページより選定）

	発生想定時刻	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
最大需要	14:30 ※	13.2		12.5	17.1	22.1		27.8		36.2	22.6 12:30※
最小予備率	17:00 ※	6.6	7.1			15.0				24.8	12.2 20:00※

※ 広域機関が過去のデータより最大需要・最小予備率発生日数が多い時間帯を指定したものであり、各エリア毎の発生想定時刻とは異なる
 参考：https://www.occto.or.jp/occtosystem2/oshirase/2021/files/2022_schedule_shitei_kouhyou_chuuiten.pdf

◆ リスクケースの供給力前提

- 週間計画における供給力に加え、バランス停止機の起動や、厳気象発生に対応する追加供給力対策（電源 I' 発動、火力増出力運転）等を考慮。
- 本試算実施は8月31日であり、それ以降にHJKS（発電情報公開システム）等において公開された運転・停止情報については、本リスクケースの試算には未反映。

■ 需給ひっ迫を早期に把握し、広く情報発信するため、毎週木曜日に公表される週間計画をベースに翌週の需給見通しを確認する。具体的には以下①②を確認する。

- ① 週間計画（至近の気象予報・電源稼働情報等を元に需要・供給力を想定）の需給状況
- ② 厳気象発生時のリスク需要を想定して試算した広域予備率（※1）

（※1）原則、毎週確認するが、週間計画にて十分な広域予備率が見込める場合は省略する予定

当機関における需給バランス確認の取り組み

I. 需給検証報告

II. 広域予備率Web公表システム

III. kWモニタリング

確認時期

需要期(夏季、冬季)の数カ月前

実需給の1・2週間前・前日・当日

実需給の前日～1週間前

確認内容

厳気象H1需要想定(※2)
における広域予備率

至近の需給想定
における広域予備率

①週間計画（翌週）の需給状況
②リスク需要で試算した広域予備率

前提 需要

厳気象H1需要

至近の気象予報等を元に
一般送配電事業者が想定

①週間計画による想定需要
②厳気象H1需要(※2)

前提 供給力

電源の計画外停止率2.6%相当とし、電源 I'及び火力増出力
を加えた供給力

至近の電源稼働情報等を元に
一般送配電事業者が想定

①週間計画による想定供給力
②週間供給力+追加供給力対策

（※2）H1需要は過去10年間で最も厳気象（猛暑）であった年度並みの気象条件での想定需要